

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	鶴見総合高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制の課程・総合学科
-----	----------	------------------	-------------

1 学校のミッション

- 全日制の課程単位制総合学科を設置する高校として、共通教科及び専門教科にわたる多様な科目の中から生徒が主体的に履修したい科目を選択でき、生徒の興味・関心や進路希望等に応じた学習を可能にするという総合学科の特質を生かし、「系列」に応じた系統性のある学習を確保することで、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 総合学科の教育システムを生かして、様々な環境・学習歴・国籍等をもつ生徒が互いに理解し学び合う多文化共生の取組を推進することで、他者との協働の大切さを学び、社会の一員として必要な資質・能力を育成する。
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する力、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を育み、主体的に学ぶ意欲を高めるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて不断の授業改善を進めるなど、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- これからの時代を生きるために必要な基礎的・基本的な知識・技能を習得させる。
- 総合学科の教育システムを基盤に多様な教科・科目を設定し、生徒の主体的な学びを実現させる教育課程を編成する。
- 多文化共生教育を通して、互いを認め合い、他者と協働することの大切さを理解させ、社会の一員として必要な資質・能力を育成する。
- キャリア教育を通して、自己の進路への思考を深めさせ、望ましい職業観・勤労観を育む。
- 地域との連携を推進し、協働と信頼に根ざした学校づくりを目指す。

3 計画策定時点での課題

- 中学校での学習内容の学び直しが必要であったり、主体的な学習態度の育成が困難であったりする場面が見られる。
- 基本的な生活習慣の確立や規則遵守に向けた指導、生徒が抱える課題に対する支援等に対し、より組織的な指導・支援体制の構築が必要となっている。
- 進路未決定者を減らすため、キャリア教育を通して望ましい職業観・勤労観を育成する必要がある。
- 部活動の加入率は低い、加入している生徒が充実した部活動を行えるよう、様々な工夫や継続的な働きかけが必要である。
- 外国につながる生徒については、日本語支援をはじめ卒業後を見据えた進路支援等、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が求められている。
- 地域や外部機関との連携を図り、学校以外の学びの場を生徒に提供する必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得と、総合学科の特色を活かした教育を実現するための教育課程の編成を推進するとともに、組織的な授業改善に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領や総合学科の特色を反映した教育課程を編成する。 ・ 学習内容の理解度を深めるため、主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善やICTの利活用、外部の教育機関等の活用を積極的に推進する。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣を確立させ規範意識を身に付けさせる。 ・ 部活動等を活性化させ、学校生活の充実を図る。 ・ 関係機関と連携した教育相談体制を推進させる。 ・ 外国人生徒支援委員会の一層の推進を図り、外国とつながりのある生徒への支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織的な生徒指導・支援を行うため、頭髪・服装指導や不要物の持込指導、見回り指導などを通し、年次やグループを中心に情報共有を徹底する。 ・ 部活動の加入率を上げるための取組を継続する。 ・ SSWやSC、教育相談コーディネーターと連携し、生徒や保護者の教育相談に適切に対応する。 ・ 外部機関や団体等との連携を図り、外国につながるのがある生徒に対し、在学中だけでなく、卒業後を見据えた教育支援を行う。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリアガイダンスの内容をさらに充実させ、生徒が主体的な姿勢で進路実現に臨めるよう支援を推し進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年次に応じたキャリア教育の実施内容を常に検証し、より効果的な時期や内容を検討する。 ・ インターンシップへの参加者を増やす工夫や、進路未決定者の内訳などを分析し、より良い進路指導へつなげる。

4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携を密にし、外部機関の教育力を積極的に活用する。 ・PTAと協働した教育活動をより発展させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部人材による講演や連携を積極的に行う。 ・地域と連携した行事をより積極的に行い、その成果を検証する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員一人ひとりの働き方への対応を行うとともに、事故・不祥事防止に努め、教職員の資質向上を目指す。 ・各種団体等と連携し、防災教育の推進や、総合学科の特色を生かした学習環境の整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のワークライフバランスを考慮した各種研修会等を実施し、教職員としての専門性を高めるとともに、実践力を養う。 ・多様な視点で学校を俯瞰し、生徒の学力や安全意識等を向上させる学習環境を整備する。